

福岡県

防災講演会開催報告

令和3年10月20日（水）八重洲博多ビル会議室ホールにて福岡県、福岡管区気象台及び当協会主催による「福岡県防災講演会」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して福岡県防災危機管理局消防防災指導課課長 佐々木 正氏が挨拶し続いて福岡管区気象台長 松村

崇行氏による「近年の豪雨災害から学ぶ」

その時、あなたはどうか行動しますか」と題

する講演と日本防災士会長崎県支部支部

長 旭 芳郎氏による「誰でもできる自主

防災」と題する講演が行われました。

最後に主催者を代表して当協会 理事長

田口尚文が閉会の挨拶を行いました。



「近年の豪雨災害から学ぶ～その時、あなたはどうか行動しますか」
福岡管区気象台長 松村 崇行 氏

PROFILE

昭和63年気象庁入庁。天気予報の基盤であるコンピューターシミュレーション技術の数値予報モデル開発に長年携わり天気予報の精度向上に打ち込む。その一環として平成9年から2年間、米国気象局に客員研究員として派遣され日米共同技術開発に携わる。近年は気象防災の企画調整や防災気象情報の改善などを通じて気象業務の高度化や気象情報利活用の促進に力を尽くす。平成30年に名古屋地方気象台長、令和2年に総務部参事官（防災担当）を経て令和3年より現職。地域防災支援の充実強化などに取り組んでいる。



「誰でもできる自主防災」
日本防災士会長崎県支部支部長 旭 芳郎 氏

PROFILE

平成3年、雲仙普賢岳噴火災害の直後、雲仙岳災害ボランティア協議会を創設し事務局長となる。その後、北海道南西沖地震、阪神・淡路大震災、対馬重油流出事故、有珠山噴火災害、新潟県中越地震、東日本大震災などの際に全国の被災地に入り支援活動を行う。平成28年度「防災功労者・防災大臣表彰」を受賞。日本防災士会長崎県支部支部長のほか、九州ブロック支部連絡協議会理事、長崎県学校防災アドバイザー、地区防災学会会員、長崎県防災会議委員も務める。



山梨県

防災シンポジウム 開催報告

令和3年11月25日（木）ベルクラシック
甲府のホールにて山梨県、甲府地方気象台
及び当協会主催による「防災シンポジウム」
を開催しました。

冒頭に主催者を代表して山梨県防災局長
長の山本盛次氏が挨拶し、続いてテレビコ
メンテーター・防災士の高杉・Jay・二
郎氏による「山梨を守る『助け合い』〜ひ
とりひとりができること」と題する基調講
演が行われました。



「山梨を守る『助け合い』
〜ひとりひとりができること」
テレビコメンテーター、ラジオDJ、防災士
高杉‘Jay’二郎氏

PROFILE

テレビコメンテーター、スポーツ、ラジオDJ、落語家、声優、
防災士など様々な顔を持つ。ボランティアの活動は阪神淡
路から始まり、中越沖、東日本、熊本、千曲川など、そして
本県雪害時にも活動している。

「みんなで災害を乗り越えるために」
山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター
准教授 秦 康範氏

PROFILE

東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修
了、博士（工学）。専門は地域防災、災害情報。地域安全学
会理事。日本災害情報学会企画委員会副委員長。一般社団
法人フェーズフリー協会理事。



引き続き、「みんなで災害を乗り越える
ために」と題して山梨大学准教授の秦康
範氏のお話によるパネルディスカッション
を行い、他のパネリスト（甲府市立南西中
学校教諭 佐藤 凌瑚氏、防災士 渡辺 光
美氏、NPO法人未来会 山下 博史氏、
山梨大学大学院 丸山 洸氏）のお話を交
えながらシンポジウムが進められた。

甲府市立南西中学校教諭
佐藤 凌瑚氏



防災士
渡辺 光美氏



NPO法人未来会
山下 博史氏



山梨大学大学院
丸山 洸氏

栃木県

WEB配信

災害ボランティアセミナー
in 栃木 開催報告

令和4年1月15日(土) 栃木県及び当協会主催による「災害ボランティアセミナー in 栃木」をWEB配信方式により開催いたしました。



「頻発化・激甚化する豪雨災害に備えて地域コミュニティでできること」

京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授
矢守 克也 氏

PROFILE

京都大学阿武山地地震観測所教授、同大学院情報学研究所教授を併任。静岡大学客員教授、兵庫県立大学特任教授、日本災害救援ボランティア・ネットワーク理事、関西学院大学災害復興制度研究所顧問などを兼務。現在、日本災害復興学会会長、日本災害情報学会副会長、地区防災計画学会副会長などを務める。専門は、防災心理学。主著に、『防災心理学入門』『天地海人:防災・減災えっせい辞典』など。『防災ゲーム“クロスロード”』『津波避難訓練支援アプリ“逃げトレ”』などを開発。防災功労者防災担当大臣表彰(2021年)、国際総合防災学会実践科学賞(2018年)など受賞多数。

東京都

WEB配信

シニア災害ボランティア
シンポジウム 開催報告

セミナーでは第一部として京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授の矢守克也氏を講師に招き「頻発化・激甚化する豪雨災害に備えて地域コミュニティでできること」という演題で講演していただきました。また第二部として、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄氏から「コロナ禍における災害ボランティア活動について」と題した講演が行われました。

令和4年1月21日(金) 当協会主催による「シニア災害ボランティアシンポジウム」をWEB配信方式により開催いたしました。シンポジウムでは第一部として大阪大学大学院人間科学研究科教授の渥美公秀氏を講師に招き「令和における災害ボランティア

「コロナ禍における災害ボランティア活動について」

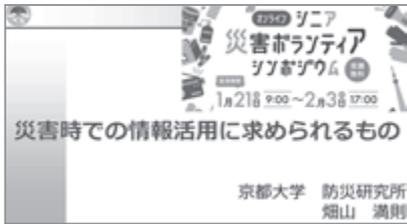
にいがた災害ボランティアネットワーク理事長
李 仁鉄 氏



PROFILE

救急病院に勤務していた2004年に水害で自身が被災し「災害ボランティア」を初めて身近に感じたことを契機に、新潟県中越地震の際にはボランティア活動に参加。その後、「にいがた災害ボランティアネットワーク」にスタッフとして参画。会の法人化に伴い常勤職員となる。2008年より事務局長、2017年から現職。平時には、講演講師やマニュアル策定や訓練監修、非常時の初動対応・事業継続・再編計画の助言を行う。災害時には被災地へ緊急救援スタッフとして派遣され、一日も早い暮らしの回復に向けた災害ボランティアセンター設置運営を中心とした支援活動や、災害復興期のボランティア・市民活動活動支援を行う。

アの在り方 災害ボランティア活動から見てきた課題」という演題で講演していただきました。また第二部として、京都大学防災研究所教授の畠山満則氏から「災害時の情報活用求められるもの」と題した講演が行われました。



「災害時での情報活用に求められるもの」
京都大学防災研究所教授 畠山 満則 氏

PROFILE

ICTを活用した防災、災害対応についての研究に従事。神戸市長田区役所（阪神・淡路大震災）、内閣府、栃木県那須烏山市役所（東日本大震災）、熊本県庁（熊本地震）において行政の災害対応支援を、宮城県亘理町FMあおぞら（東日本大震災）、倉敷市災害ボランティアセンター（平成30年7月豪雨）で民間現地支援活動をサポートし、これらの知見を活用した総合減災システムの開発研究を行っている。また、平常時にも高知県黒潮町、京都市山科区などでICTを積極的に活用した地域コミュニティでの避難計画作成支援活動を行っている。

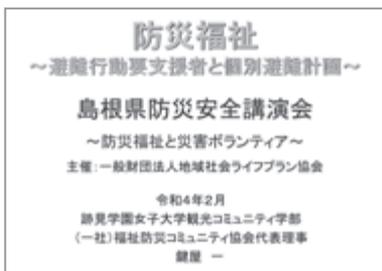
「令和における災害ボランティアの在り方
災害ボランティア活動から見えてきた課題」

大阪大学大学院
人間科学研究科教授
渥美 公秀 氏



PROFILE

昭和36年大阪府生まれ。大阪大学人間科学部卒業後、ミシガン大学大学院に留学、博士号取得修了。平成22年大阪大学大学院人間科学研究科教授に就任。平成30年より同研究科附属未来共創センター副センター長。自宅のあった西宮市で阪神・淡路大震災に遭い、ボランティア活動に参加。これをきっかけに災害ボランティア活動の研究と実践を続けている。認定特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長のほか、日本グループ・ダイナミックス学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会などの役員を務めている。著書に、『災害ボランティア』（弘文堂）、『ボランティアの知』（大阪大学出版会）などがある。



「防災福祉
～避難行動要支援者と個別避難計画」

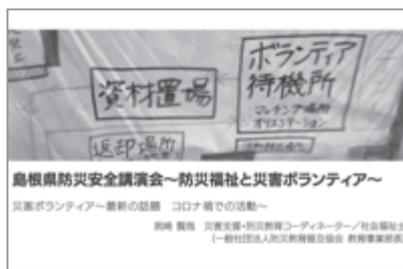
跡見学園女子大学
観光コミュニティ学部教授
鍵屋 一 氏

PROFILE

1956年、秋田県男鹿市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、板橋区役所入区。防災課長、板橋福祉事務所長、福祉部長、危機管理担当部長（兼務）などを経て2015年3月退職。同年、京都大学博士（情報学）取得。2015年4月より現職。法政大学大学院兼任講師、名古屋大学大学院兼任講師も務める。国の検討会の座長のほか、内閣府地域活性化伝道師、（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事、（一社）防災教育普及協会理事、認定NPO法人災害福祉広域支援ネットワークサウンダーボード理事などを務める。著書に『図解よくわかる自治体の地域防災・危機管理のしくみ』（学陽書房）など。

「災害ボランティア
～最新の話
コロナ禍での活動」

災害支援・防災教育コーディネーター
社会福祉士
宮崎 賢哉 氏



PROFILE

阪神・淡路大震災の教訓をもとに、在学中に学生団体を設立。災害支援や防災教育に取り組む。2005年に公益法人に入職、活動経験を活かし大学での災害ボランティア講座や学生支援、防災教育を担当。2014年に社内起業で防災教育を普及する社団法人の設立に携わる。児童・生徒、教職員、社会福祉協議会、企業等での防災教育訓練や災害ボランティア育成、災害時要配慮者支援、公園・緑地の防災対策・地域連携など、幅広い分野で活動する。1982年生まれ。立正大学社会福祉学部2005年3月卒。2児の父。一般社団法人防災教育普及協会 教育事業部長。

島根県

WEB 配信

防災安全講演会
「防災福祉と災害ボランティア」
開催報告

令和4年2月1日（火）島根県及び当協会主催による「防災安全講演会」防災福祉と災害ボランティア」をWEB配信方式により開催いたしました。

講演会では第一部として跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授の鍵屋一氏を講師に招き「防災福祉～避難行動要支援者

と個別避難計画」という演題で講演していただきました。

また第二部として災害支援・防災教育コーディネーター、社会福祉士の宮崎賢哉氏から「災害ボランティア～最新の話～コロナ禍での活動」と題した講演が行われました。